

果樹火傷病の国内侵入防止と防除対策のための基盤研究

1 中核機関・研究総括者

(独) 農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所 島根 孝典

2 研究期間

2006～2008 年度 (3 年間)

3 研究目的

火傷病の国内侵入時に備え、病害の効率的な早期発見及び病原細菌の根絶体制の構築に必要な火傷病の診断、迅速で的確な病原細菌の同定法の改良、開発を行うとともに知見、情報を集積する。

4 研究内容及び実施体制

- ① 火傷病菌、我が国のバラ科果樹病原細菌及び表生細菌を供試した火傷病菌の迅速かつ的確な各種同定方法の確立 ((独) 果樹研究所、(独) 中央農業総合研究センター)

既存同定技術の改良、病原細菌の分子生物学的解析により、迅速で的確な同定方法を確立する。

- ② リンゴ及びナシ主要生産県における火傷病類似症状の発生調査と原因解明 (青森県農林総合研究センター、長野県果樹試験場、長野県南信農業試験場、鳥取県園芸試験場)

園地で発生する火傷病類似症状を調査し、その原因を究明する。

- ③ 火傷病発生国における火傷病の病徴診断技術の習得及び発生生態並びに防除関連情報及び病原細菌の収集 ((独) 中央農業総合研究センター、(独) 果樹研究所、青森県農林総合研究センター、長野県果樹試験場、長野県南信農業試験場、鳥取県園芸試験場)

火傷病診断技術の習得、火傷病防除技術等関連情報及び病原細菌の収集を行う。

5 目標とする成果

迅速で的確な火傷病菌同定法を確立する。火傷病類似症状を火傷病と明確に識別できるマニュアル等の資料を作成する。火傷病発生国で診断技術を習得するとともに火傷病防除技術等関連情報及び病原細菌を収集する。これにより、火傷病侵入警戒調査における本病の早期発見及び万一の火傷病侵入時の防除、撲滅対応へ反映させる。

果樹火傷病の国内侵入防止と防除対策のための基盤研究

リンゴ、ナシにおける 類似
症状発生調査による簡易
識別法を開発し侵入警戒
体制の充実強化

火傷病菌・果樹病原菌
の分子生物学的特性解
明による高精度診断・同
定法の開発

火傷病発生国での
生態・防除に係る
情報収集

火傷病の早期発見・
防除対応技術の構築

宿主植物の
不正持ち込み

火傷病侵入リスク

国際的人物交流
の増加

火傷病侵入・発生時の早期撲滅による国内まん延の阻止